

このページは、

大阪工業大学 工学部 環境工学科 循環基盤
工学研究室(教授: 渡辺信久)が、学外サー
バー用に作成したものです。

リンク先

- [大阪工業大学 工学部 環境工学科](#)
- [研究室ページ\(学外サーバー\)](#)



渡 辺 信 久 nobuhisa.watanabe(at)oit.ac.jp
大阪工業大学 工学部 環境工学科 循環基盤工学研究室 教授
〒 535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1(10号館6階 1006 B)
自室 TEL 06-6954-4407 (学内電話 4316)
事務室 TEL 06-6954-4375 FAX 06-6952-6197

■ 学歴

1982年3月 東京都立新宿高校卒業(その後、1年間、駿台予備校)
1983年4月 京都大学工学部衛生工学科入学
1987年3月 同校卒業(その後、博士前期課程および後期課程へ)
1992年3月 京都大学大学院 博士後期課程 研究指導認定退学
1994年7月23日京都大学博士(工学)の学位を授与される

■ 職歴

1992年4月 大阪市立環境科学研究所 研究員
(1997-1998年 Institut fuer Chemo- u. Biosensorik, Muenster, Germany)
2002年4月 京都大学助教授(環境保全センター)
2006年4月 大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授

■ 資格

電気主任技術者 第三種 第51-E2978号 (2015)

■ 専門

循環基盤工学: 資源循環・エネルギー変換における元素の挙動
環境熱力学: 環境分野での熱力学的方法の体系化
リスク認知とその受容: 天然起源のリスク低減メカニズムの解明と促進
普及活動: 3R・低炭素社会検定実行委員会

■ 賞罰

2018 環境大臣表彰 ー令和 2年度 廃棄物・浄化槽研究開発功労者ー

2017 環境化学会 学術賞 「廃棄物など複雑マトリックス系媒体中の有害微量元素研究による環境化学への貢献」

2014 環境化学会技術賞 竹峰秀祐・高田光康・山本勝也・松村千里・藤森一男・渡辺信久・中野武・近藤明(2013)「粒状活性炭中の有機フッ素化合物の分析, 環境化学 23: 55-60

2007 廃棄物学会奨励賞(ごみ質分析に関する基本的事項の整理、廃棄物燃焼に伴う元素の挙動の研究)

2002 分析化学会論文賞受賞(受賞論文:渡辺信久, Buscher, W. and Boehm, G.(2001)バリアー放電ラジオ波ヘリウムプラズマによるフッ素, 塩素, 臭素及びヨウ素の定量, 分析化学, Vol. 50(3), 163-167

2001 生活衛生協会会長賞受賞(受賞論文:Watanabe,N. Inoue,S. and Ito,H.(2000) Chlorine promotes antimony volatilization in municipal waste incineration, J. Mater. Cycles Waste Manag., Vol. 2, 10-15)

2000 特許(年金不納による特許権消滅): 特許第3383859号、発明の名称:原子発光分析装置、特許権者:大阪市、発明者:渡辺信久、ヴォルフガング ブーシャー、ギンター ベーム、出願番号:特願2000-214958、出願年月日:平成12年 7月14日、登録日:平成14年12月27日、特許公報特開2002-31600A(原子発光分析装置: バリアー放電ラジオ波ヘリウムプラズマ原子発光法を用いた気相試料中のフッ素、塩素、臭素、ヨウ素の定性・定量に関するもの)

1994 水環境学会論文奨励賞 (廣瀬賞) 受賞(受賞論文:渡辺信久・酒井伸一・高月紘(1992)水ー底質系におけるブチルスズの動態と環境運命, 水環境学会誌, Vol.15(10), 672-682)